



真備緊急治水対策 2年目の記録

～ 1日も早い工事完成に向けて～

写真家
山崎エリナ 監修

山を切り開き川を創る

小田川合流点付替え工事



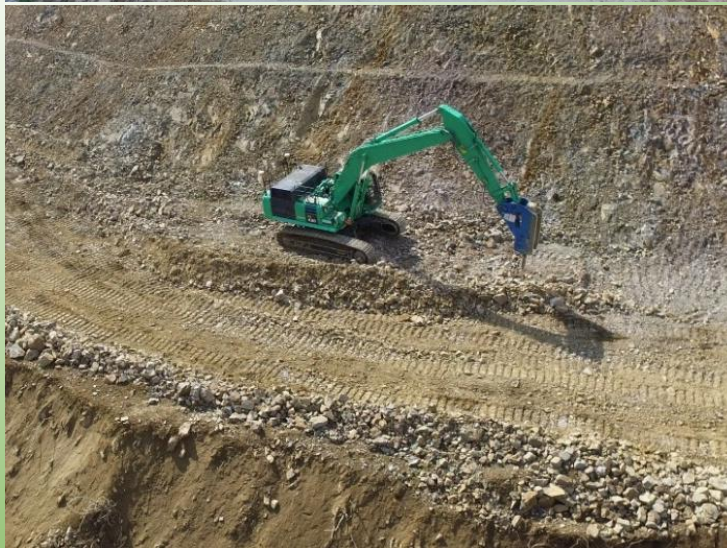
着手前 (H30. 9)



山頂到達 (R2. 1)



木を切って、土砂を掘削しながら、
大型重機が山頂に登るための道をつくる





山頂から本格的な掘削を開始
斜面は地盤の状況を確認しながらアンカーを設置



大型重機の活用



堤防の建設



掘削した南山の土を利用して、周辺の堤防を整備
排水を行うため、堤防の下には水路ボックスも設置



水路ボックスの建設



南山の掘削状況



付替え後の小田川の川幅を確保するために、山を切り開き川にします。
令和2年1月に、重機が山頂に到達し、本格的な掘削が始まりました。
令和2年10月末現在で山頂から約30mの掘削が完了しています。

R2. 10時点



高梁川と小田川を分離する堤防



草刈りや樹木伐採をおこない、高梁川や小田川の掘削土を利用して堤防を建設





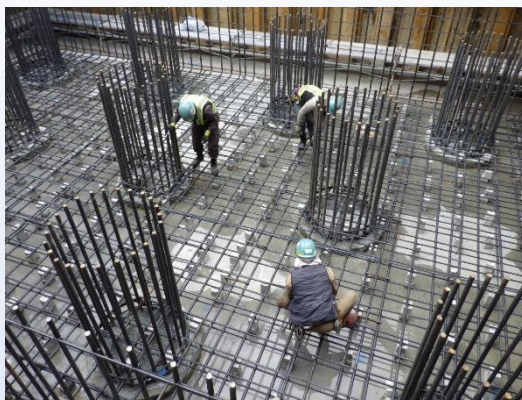
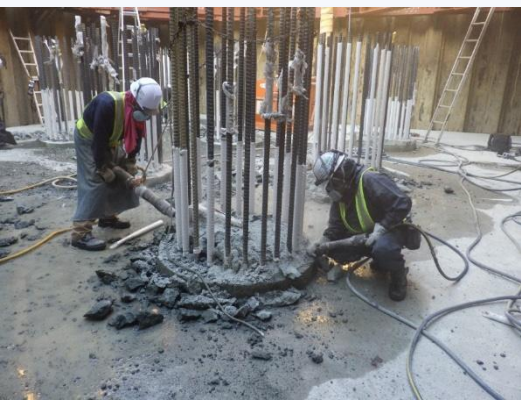
土でつくった堤防に水が入らないよう、遮水シートを設置
その上に、水の力で堤防が削られないよう、コンクリート護岸を設置



令和4年度 橋梁完成 に向けて



地盤を掘削した後、地上で組み立てた杭の鉄筋を地下に挿入。
コンクリートを流し込み、余分なコンクリートを切りとり（杭頭処理）、基礎杭が完成。
さらに、鉄筋を組み立て、コンクリートを流し込んでフーチングと呼ばれる土台をつくり、
柱の鉄筋を組み立て、コンクリート打設を繰り返し、安全な橋脚をつくっています。
令和3年度に橋がかかり、令和4年度に現在の道路とつながる予定です。



橋脚部分の鉄筋組立



鉄筋の連結



品質チェック



橋脚完成



地域を支える 建設者たち





現場の力





ドローンで掘削前に測量



現場確認



河道掘削





川辺地区 矢板打設

堤防強化



服部地区 堤防拡幅



より強く安全に



土砂ストックヤード



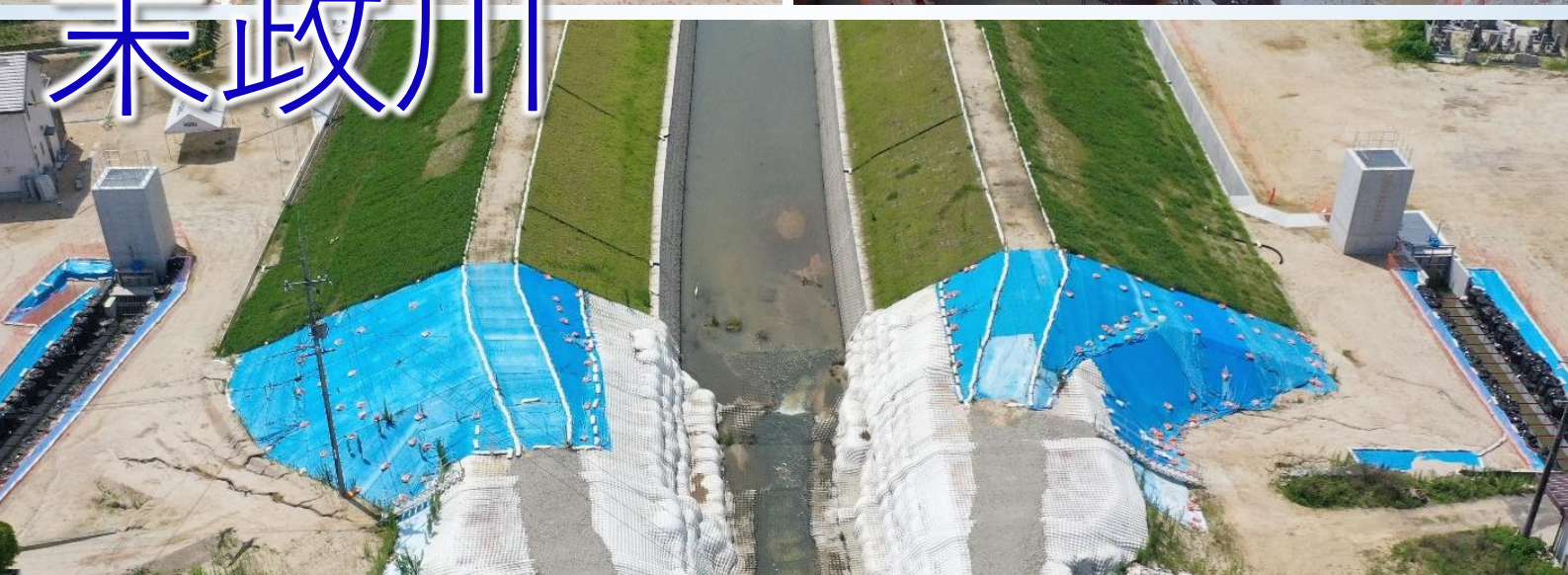
河底横過トンネル工事



平成30年7月豪雨により被災した、末政川を横断する用水管の復旧工事。
末政川の地下をシールドマシンで掘り、東側と西側の用水路をつなげる。
現場の土質条件が悪く、かつ、すぐに地下水が湧き上がってくるなど、
劣悪な条件であったが、無事、用水期間までに通水完了。



末政川



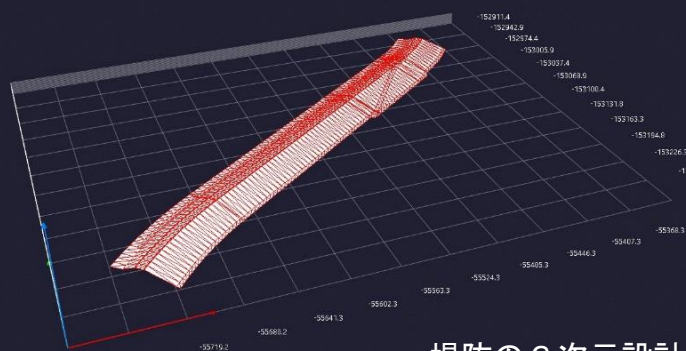


真谷川



堤防強化





堤防の3次元設計

i-Construction



ICT搭載型重機

～建設現場にICTを導入～

1日でも早く工事を完了するため、最新技術の活用や大型化重機の活用など、様々な工夫を行いながら工事を進めています。

※i-Construction (アイ・コンストラクション)

測量や設計、施工など建設現場にICTを導入し、建設生産システム全体の生産性向上をはかっています。



位置情報をリアルタイム確認



大型重機の活用



6.0m³
バックホウ

1.4m³
バックホウ



40tダンプ

10tダンプ

土砂積載容量
約20m³

土砂積載容量
約6m³

工事の工夫

粘土分が多い小田川の土と砂分が多い高梁川の土砂を混合し、堤防の材料としてふさわしい土砂を製造





小学生を対象とした
現場見学会

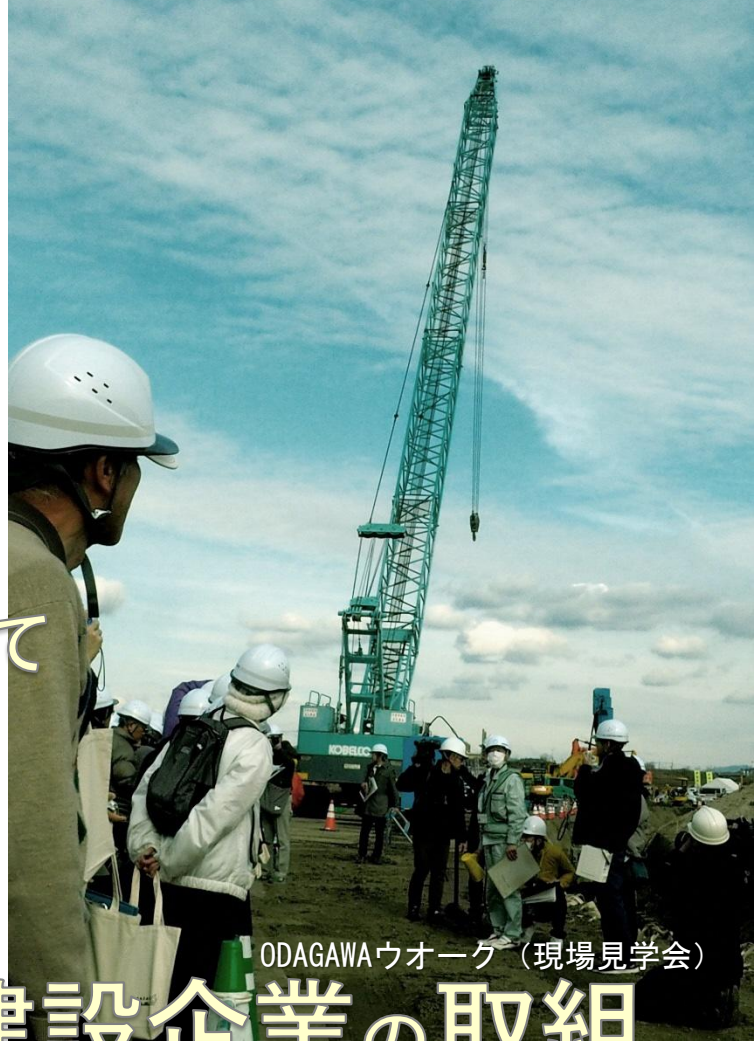
地域の一員として



工事見学所



地域の避難先
(熊野神社)に
快適トイレを寄贈



ODAGAWAウオーグ（現場見学会）

建設企業の取組



小学校等へマスクの寄贈

真備のために役立ちたい。
そんな思いで働いています。
ともに進めよう！
わがまち、真備の復興を

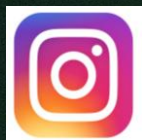


災害にもコロナにも負けない！そんな思いを込めて



小田川の合流点付替え事業など、真備緊急治水対策プロジェクトは
令和5年度末までの完成を目標に一工事を進めています。
1日も早く地域の安全を確保できるよう、全力で取り組んで参ります。





Instagram 工事写真を毎日発信中！
@takaoda2019



作成日：2020年11月18日（土木の日）
作成者：国土交通省 中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
岡山県 備中県民局
写真提供：フォト・マービー（真備地区写真愛好家サークル）
協力：岡山県建設業協会
監修：山崎エリナ（写真家）